

Ⅲ その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 4,592 人のうち、1,680 人の方から自由意見が寄せられました。

➤ みえ県民 1 万人アンケートに関する御意見

今後もできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などに努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

① 目的や活用に関すること

- ・ アンケート結果をしっかりと有効活用してほしい。
- ・ アンケートの質問内容が長層的で県が何をどうしていこうとしていきたいのか、わかりにくい。
- ・ このようなアンケートをされているのを、今回初めて知った。アンケートの結果をどのような形で知ることができるのか、アンケートを受け取った者として結果が知りたい。
- ・ このアンケート結果がどう反映されるのかがわからない。
- ・ このアンケート実施の意図などはよく伝わったが、150 万人以上いるうちの 1 万人という対象者数は少ないと思う。
- ・ アンケートを通して、県民の意見を反映しようとする試みは素晴らしい。今後も、取り組みを行い、県の繁栄に力を入れてほしい。

② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ もっと単刀直入に聞いたほうが参考になりうる意見が集まるのではないか。
- ・ アンケート調査票を 3 つ折にする必要があるのでアンケート用紙に印をつけてほしい。(折目の位置)
- ・ アンケートの内容が分かりにくい。
- ・ 選択肢にネガティブ・ポジティブ両方とれるものがあり、県が何を進めていきたいのかわかりづらい。
- ・ 三重県の場合は、特に地域差が大きいように思うため、地域別に集計することで、地域間格差が明確になるのではないか。

③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ 世代ごとに絞ったアンケートの方がより鮮明になると思う。
- ・ アンケートの結果が知りたい。
- ・ アンケート回答者に対して何かしらのクーポン券などがあれば良いと思った。

※自由意見の内容は誤字脱字を修正しているため、原文とは一部異なります。

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団の一部を標本として抽出し、その回答からもとの母集団全体について推定する標本調査では、“真の値”（全数調査を行えば把握できるであろう値）との差が発生することが避けられません。この“標本誤差”は、次のような手順で見積もることができます。

まず、今回のように大きな母集団から標本を無作為抽出する調査では、ある選択肢が選ばれた比率（回答比率） p の“標準誤差”（回答比率の標準偏差）が次のように求められます。

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{p(100-p)}{n}} \quad n : \text{回答者数 (人)} \quad p : \text{回答比率 (\%)}$$

標本誤差はこの標準誤差と、結果に求める“信頼度”から見積もります。例えば、信頼度を、最も広く使われる95%（間違える確率が5%）とすると、標本誤差は次の式のように求めることとなります。

$$\text{標本誤差} = 2 \times \text{標準誤差}$$

ここで、右辺第1項の2（厳密には1.96）は、想定する信頼度によって統計学的に決まる値です。回答比率プラスマイナス標本誤差の範囲が信頼区間と呼ばれるもので、信頼度95%の場合、真の値（母集団における比率）が95%の確率で、次の範囲におさまると考えることができます。これが、標本調査の精度です。

$$\text{回答比率} - \text{標本誤差} \sim \text{回答比率} + \text{標本誤差}$$

今回の調査では、10,000人の標本から4,592人の有効回答が得られました。回答者全員を対象とする集計結果の標本誤差を、上の式から具体的に計算すると、例えば回答比率が50%の場合は、1.5%、同20%では1.2%となります。このことから、三重県民（18歳以上）全体の意識を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。

次表は、いくつかの n （回答者数）と p （回答比率）の組み合わせについて、信頼度95%の標本誤差を計算した早見表です。

標本誤差の早見表

回答比率(p) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

なお、標本誤差の計算は、特定の属性区分（例えば性別が女性など）の回答者 n 人とその回答比率 p という組み合わせについても同様です。上の表は、そのような標本誤差の早見表としてもご覧ください。

第3回 みえ県民1万人アンケート 調査票

所要時間は15分程度です。

ご回答は専用ウェブサイトか、この調査票(郵送)のいずれかからお願いします。
それぞれの回答方法は、下記を参照ください。

回答締切日：令和7年1月10日(金)

専用ウェブサイトでご回答いただく場合

- ※パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも可能です。
- ※インターネットでご回答いただいた方は調査票の返送は不要です。

[1] URL を直接ご入力、または二次元コードからアクセス

<https://tsrsurvey.jp/mie>



[2] ログイン画面が表示されましたら、以下に記載の ID を入力してください。

あなたの ID : ※ 0 は数字のゼロです

パスワード :

IDは調査票からの回答とウェブサイトからの回答の重複を防ぐものであり、
回答者様個人を特定するものではありません。

[3] アンケート画面が表示されますので、ご回答ください。

調査票(郵送)でご回答いただく場合

[1] 調査票に記入



- ◆回答は順番に、番号に○をつけるか、回答欄に数字等を記入してください。
- ◆ご記入は、ボールペン又は鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- ◆アンケートは、次ページの問1からご回答ください。

[2] 同封の返信用封筒へ



- ◆記入を終えられましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に調査票を入れ、郵便ポストに投かんしてください。

[3] ポストへ投かん



はじめに、生活の満足度についておききします

問1 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（数字を1つだけ〇）

非常に 満足している									全く満足 していない	
10 点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0 点

問2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）

	5 満足	4 いど えば ちら かと 満足	3 ふ つう	2 いど えば ちら かと 不満	1 不 満	0 あ ては まら ない ・ わ か ら な い
① 家計と資産	5	4	3	2	1	0
② あなた自身の給料や報酬・賃金	5	4	3	2	1	0
③ 仕事のやりがいや生活とのバランス	5	4	3	2	1	0
④ 健康状態	5	4	3	2	1	0
⑤ 医療サービス	5	4	3	2	1	0
⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ	5	4	3	2	1	0
⑦ 子育てのしやすさ	5	4	3	2	1	0
⑧ 子どもの教育	5	4	3	2	1	0
⑨ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	5	4	3	2	1	0
⑩ 身のまわりの自然環境	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然災害への備え	5	4	3	2	1	0
⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全	5	4	3	2	1	0
⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい	5	4	3	2	1	0
⑭ 移動手段、交通の便利さ	5	4	3	2	1	0

次に、県が注力している取組に関することについておききします

【災害について】

問3 南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では令和元年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報*」の運用を開始しており、今年8月8日に、運用を開始してから初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。あなたはこの情報について、どの程度知っていますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---|--------------------------|---------|
| 1 | よく知っている（具体的な内容を概ね理解している） | ⇒ 問3-2へ |
| 2 | 名称は知っているが、具体的な内容は知らない | ⇒ 問3-2へ |
| 3 | 知らない・聞いたことがない | ⇒ 問4へ |

*南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報

問3-2 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知りましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|---|
| 1 | インターネット |
| 2 | 行政の防災メール |
| 3 | テレビ |
| 4 | ラジオ |
| 5 | 各種防災アプリ |
| 6 | SNS（フェイスブック、X(旧 Twitter)、LINE、インスタグラムなど） |
| 7 | 防災行政無線による放送 |
| 8 | その他（ ） |

問3-3 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはありませんか。次の中から、あてはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 | 特に不安を感じたり、困ったりしたことはなかった |
| 2 | 臨時情報が具体的にどのようなことを示す情報なのかわかりづらかった |
| 3 | 臨時情報を受け、どのような行動を取るべきなのかわかりづらかった |
| 4 | 自宅所在地や旅行先などの津波による危険度がどの程度あるのかわからなかった |
| 5 | 施設や交通機関の対応（臨時休業や運休など）にばらつきがあった |
| 6 | その他（ ） |

【結婚について】

問4 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---|--------------------------------------|---------|
| 1 | 未婚(結婚したことはない) | ⇒ 問4-2へ |
| 2 | 既婚・配偶者あり(現在、夫または妻がいる) | ⇒ 問5へ |
| 3 | 既婚・死別または離別
(結婚したことはあるが、死別または離別した) | ⇒ 問5へ |

問4-2 問4で「1」を選んだ方(これまで結婚したことがない方)におききします。

今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---|------------|---------|
| 1 | いずれ結婚するつもり | ⇒ 問4-3へ |
| 2 | 結婚するつもりはない | ⇒ 問5へ |

問4-3 問4-2で「1」を選んだ方におききします。

現在、結婚していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----|-------------------|--------------------------|
| 1 | 結婚するのはまだ早い | |
| 2 | 出会いの機会がない | ⇒ 問4-4へ |
| 3 | 理想の相手に出会えていない | ⇒ 問4-4へ |
| 4 | 収入が少ない | |
| 5 | 自分に自信が持てない | |
| 6 | 自由な生活を失いたくない | ※「2」と「3」を
選ばなかった方は問5へ |
| 7 | 仕事が不安定 | |
| 8 | 金銭的に不自由になる | |
| 9 | キャリアアップの障害になる | |
| 10 | 結婚に希望やいいイメージを感じない | |
| 11 | その他() | |

問4-4 問4-3で「2」「3」を選んだ方におききします。ご自身がお相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはありますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 知人等に紹介を依頼 |
| 2 | ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用 |
| 3 | 結婚相談所の利用 |
| 4 | SNSやインターネットで興味のあるコミュニティに参加 |
| 5 | 婚活パーティ・イベントに参加 |
| 6 | お見合い |
| 7 | 趣味や習い事でのお相手探し |
| 8 | 合コンに参加 |
| 9 | 特に何もしていない、する予定はない |
| 10 | その他（ <input type="text"/> ） |

【子ども・子育て支援について】

問5 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は()に人数も記入してください)

- | | |
|---|--|
| 1 | (<input type="text"/>)人くらいほしい(ほしかった) |
| 2 | ほしくない(ほしくなかった) |
| 3 | わからない |

問6 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は()に人数も記入してください)

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 子どもが(<input type="text"/>)人いる |
| 2 | 子どもはいない |

問7 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。
(○は1つだけ)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない
- 5 わからない

問8 あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
(○は3つまで)

- 1 休暇を取得しやすい雰囲気
- 2 育休や短時間勤務中の収入の確保
- 3 育休や短時間勤務を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当供給
- 4 テレワークなどの柔軟な働き方
- 5 正社員のままでの短時間勤務の推進
- 6 転勤・単身赴任などの制度の見直し
- 7 育休や短時間勤務取得者のキャリア・昇進への配慮
- 8 休日出勤や長時間労働の是正
- 9 企業内託児所や家事支援サービスなどの環境や制度の整備
- 10 その他 ()

【ジェンダーギャップの解消について】

問9 働く場などにおけるジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて、あなたは、今後どのようなことを進めていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

（○は3つまで）

- 1 企業における男女均等な採用や人事配置への取組
- 2 結婚や出産後も女性が働きやすい雇用形態（短時間正規やテレワークなど）の導入
- 3 男性の家事・育児時間の拡大
- 4 女性のキャリア形成（仕事に必要なスキルを身に付ける）支援
- 5 共働き・共育てへの公的支援（保育所や放課後児童クラブへの支援等）
- 6 家事の負担軽減に向けた支援（家事代行サービス等）
- 7 その他（ ）

※都道府県版ジェンダーギャップ指数（経済分野）：三重県46位（ワースト2位）

（「地域からジェンダー平等研究会」公表）

【人材確保について】

問10 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

- 1 自然豊かな落ち着いた環境で生活できる
- 2 名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い
- 3 農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い
- 4 ワークライフバランスが図りやすい
- 5 人が温かい
- 6 働きながら子育てがしやすい
- 7 生活費を抑えられる
- 8 通勤の負担が少ない
- 9 特にない
- 10 その他（ ）

【デジタルの活用について】

問13 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---|-----------------------------------|---------|
| 1 | デジタルサービスを利用したことがある | ⇒問14へ |
| 2 | 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない | ⇒問13-2へ |
| 3 | そもそも行政手続を利用する機会がなかった | ⇒問14へ |
| 4 | わからない | ⇒問14へ |

問13-2 問13で「2」を選んだ方におききします。

その主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | スマートフォンやパソコンを持っていない |
| 2 | 手続がデジタル化していることを知らなかった |
| 3 | 必要な手続がデジタル化していない |
| 4 | 利用方法がわからない、操作が難しい |
| 5 | 対面による手続がよいと思う |
| 6 | その他 () |

【公共交通について】

問14 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	1 実際に利用することがある 利用できる環境にあり、	2 ほぼ利用していない 利用できる環境にあるが、	3 利用できる環境にない
①鉄道	1	2	3
②バス	1	2	3

【公共ライドシェアについて】

問15 あなたは、お住まいの市町が、タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地（地域のスーパーや病院等）まで送迎してくれるサービスを実施した場合、利用したいと思いますか。

(○は1つだけ)

1	利用したいと思います
2	どちらかといえば利用したいと思います
3	どちらかといえば利用したくない
4	利用したくない
5	わからない

さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、お一人おひとりについて、以下の情報が欠かせません。無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。ぜひご協力ください。

問16 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

問17 あなたは現在、おいくつ(満年齢)ですか。

満 歳

問18 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- 1 単身世帯(ひとり暮らしなど)
- 2 一世代世帯(夫婦のみなど)
- 3 二世代世帯(親と子など)
- 4 三世代世帯(親と子と孫など)
- 5 その他()

問19 あなたの主な職業は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 農林水産業(家族従事者も含みます)
- 2 自営業、自由業(家族従事者も含みます)
- 3 企業、役所、団体などの正規の社員・職員
- 4 パート、アルバイト、派遣社員など
- 5 その他、収入のある仕事
- 6 学生(アルバイトなどを行っている方も含みます)
- 7 専業主婦、専業主夫
- 8 無職

問20 あなたは配偶者の方と共働きをしていますか。(○は1つだけ)

- 1 はい
- 2 いいえ

問2 1 あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。
 （○は1つだけ）

- | | |
|----|-----------------|
| 1 | 100万円未満 |
| 2 | 100万円～200万円未満 |
| 3 | 200万円～300万円未満 |
| 4 | 300万円～400万円未満 |
| 5 | 400万円～500万円未満 |
| 6 | 500万円～600万円未満 |
| 7 | 600万円～800万円未満 |
| 8 | 800万円～1,000万円未満 |
| 9 | 1,000万円以上 |
| 10 | わからない |

問2 2 あなたのお住まいの市町はどちらですか。

「1」～「29」のお住まいの市町に○をつけてください。（○は1つだけ）

北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1.桑名市	11.伊賀市	13.津市	18.伊勢市	25.尾鷲市
2.いなべ市	12.名張市	14.松阪市	19.鳥羽市	26.熊野市
3.四日市市		15.多気町	20.志摩市	27.紀北町
4.鈴鹿市		16.明和町	21.玉城町	28.御浜町
5.亀山市		17.大台町	22.度会町	29.紀宝町
6.木曾岬町			23.大紀町	
7.東員町			24.南伊勢町	
8.菰野町				
9.朝日町				
10.川越町				

今後、三重県に特に力を入れてほしい取組*や、本アンケート調査に対する感想、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

*県の取組については、同封の依頼状裏面の『「みえ元気プラン」の主な取組』も参考にしてください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、令和7年1月10日（金）までに郵便ポストに投かんしてください。